

LESSON 30

ご提供いただいた議事録を、KPT（Keep、Problem、Try）フレームワークに基づいて整理しました。

Keep（良かったこと・続けるべきこと）

- ・ リリースが1回で問題なく成功した（前回は3回のやり直しが発生していたため）。
- ・ インフラのデプロイパイプラインの改善が少し前進した。
- ・ 雑談チャンネルで他愛もない話ができるようになり、チーム内のコミュニケーションや雰囲気がスプリント初期に比べて良くなった。

Problem（課題・問題点）

- ・ 「朝会の時間短縮」「デプロイ前チェックリストの作成」「コードレビュー基準の文書化」などの過去の改善事項が、担当者不在のため3回連続で実行されていない。
- ・ PM（橘さん）による仕様確定・仕様変更のタイミングが遅く、QAスケジュールがギリギリでリリース前日までヒヤヒヤする状態だった。
- ・ スケジュールが厳しいと気づいていても、「厳しい」と言い出しにくい雰囲気がある。
- ・ テスト自動化が8スプリントほど前からずっと積み残しになっており、その結果として手動テストに時間がとられQAの工数が逼迫している。
- ・ リモートワーク比率の上昇により、気軽に「ちょっといいですか」と相談しにくくなっている。
- ・ PMが振り返りミーティングに不在のため、仕様確定タイミングなどの根本的な改善策をその場で決められない。

Try（次に挑戦・改善すること）

- ・ 改善事項を決める際は、「チームで意識する・頑張る」といった曖昧な方針をやめ、必ず担当者名と期限を明確に設定する。

- ・ テスト自動化のタスクはいったんBacklogに入れ、優先度についてPMの確認・判断を仰ぐ。
- ・ 仕様確定のタイミングを「スプリント開始の3日前まで」とするよう、PMに交渉する。
- ・ 次回の振り返りミーティングには必ずPM（橘さん）を参加させる（担当：大森さん、期限：次スプリント冒頭まで）。

他に、この議事録について深掘りしたい課題や、KPTを基にしたレポート作成などのご希望はございますか？